

名古屋大学大学院環境学研究科・任期付正職員公募

1. 職種・人員： 研究員（任期付正職員） 1名
（※経験により、特任助教の称号を付す場合があります）
2. 所属： 名古屋大学大学院環境学研究科・地球環境科学専攻（大気環境・気候モデリング研究室）
3. 勤務地： 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学東山キャンパス
4. 専門・関連分野： 大気化学、気象学、気候モデリング、物質循環モデリングなど
5. 着任時期： 2019年12月1日以降のなるべく早い時期
6. 雇用期間： 2020年3月31日まで。審査により再任可（最長で2023年3月31日まで）。
7. 待遇： 年俸制（名古屋大学年俸制適用職員給与規定による）。文部科学省共済保険。
8. 募集の背景：

名古屋大学大学院環境学研究科（大気水圏科学系、大気環境・気候モデリング研究室）では、大気中の様々な物質循環を計算可能な大気化学・エアロゾル結合気候モデルの開発を行っています。このモデルは、対流圏・成層圏オゾンやメタンなどの微量気体、および各種エアロゾルの全球分布を計算することが可能であり、このモデルを用いて大気汚染・地球温暖化の定量的理解や将来予測等の研究を推進しています。

このたび、科学研究費補助金・基盤研究S「階層的数値モデル群による短寿命気候強制因子の組成別・地域別定量的気候影響評価」（2019～2023年度、代表機関：九州大学、共同研究実施機関：九州大学、東京大学・国立環境研究所）の実施にあたり、以下の通り、研究員（ポスドク相当）の募集を行います。

※参考情報：

- ・ https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/climate/KAKENHI_S/research.html
- ・ <http://chaser.has.env.nagoya-u.ac.jp/aecm/>

9. 業務内容：

全球化学・エアロゾル気候モデルを用い、気候汚染物質（SLCPs）や各種汚染物質の気候影響を定量化する。とくに、オゾン等の気体成分やこれに纏わる大気化学過程およびエアロゾルとの相互作用に着目した解析を行い、各種汚染物質の排出（エミッション）削減に対する気候応答や感度を評価・整理する。

10. 応募資格：

- (1) 博士号取得者（着任時まで取得見込の方を含む）

（博士学位をお持ちでない方も受け付けることがありますが、待遇等は変わります。詳細はお問い合わせ下さい）

- (2) 気象学・気候学、大気化学・エアロゾル、気候モデリング、物質循環モデリングのいずれかの分野に精通し、研究実績のある方（数値モデル、データ解析、衛星データ解

析等の研究経験を有する方を優遇します)

11. 応募書類：

- (1) 履歴書（写真貼付、学歴・職歴等、様式自由）
- (2) 研究業績リスト（論文、総説、著書、受賞歴、外部資金獲得実績など、様式自由）
※論文および総説は査読の有無を明記し、また和文のものは和文で記載すること
- (3) 主要論文の別刷（PDF）3編以内
- (4) これまでの研究内容と上記研究を行うにあたっての抱負・計画（A4用紙1～2枚程度）※とくに、上記業務内容・応募条件に沿って、どのように貢献可能かお示しください。
- (5) 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（住所、電子メールアドレス、電話番号）
※本公募では、研究業績等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用致します。

12. 応募締切： 2020年1月31日（候補者が決定次第、締め切ります）

13. 書類送付先：

(※メール添付で応募ください)

まとめて1つのファイル（PDFまたはzipファイル等）とした上で、下記アドレス（須藤 健悟）までメール添付で送付（件名は【任期付正職員応募】としてください）

kengo@nagoya-u.jp

※応募書類は返却いたしません。

※提出頂く書類は本公募のためだけに使用し、それ以外の目的には使用しません。

14. 選考内容： 書類選考後に、必要に応じて面接をする場合があります。適任者がいない場合、決定を保留することがあります。

15. 問い合わせ先：

名古屋大学大学院環境学研究科

須藤 健悟

電話： 052-789-4304

e-mail：kengo@nagoya-u.jp

<http://chaser.has.env.nagoya-u.ac.jp/aecm>

http://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/view/html/100003287_ja.html